

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	16-	3
事業名	奨学資金扶助費	
	会計 一般	款 10
		項 1
		目 3
施策	3	心豊かなまち
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる
	3-1-1	幼児教育・学校教育の充実
主要施策	⑦保護者や地域への働きかけ	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	奨学生	目的 (対象がどのような状態になっているか)	修学意欲があるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な者に対して奨学金を給付する。
事業内容	月額5,000円を半期ごとに給付する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B					374		384	
財源内訳	直接事業費 A				110		120	
	うち一般財源				110		120	
人件費(千円) B					264		264	
内訳	一般職員(人・千円)		0.04		264		0.04	
	臨時職員(人・千円)		0		0		0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	申請者数が予定数に達しない。
②H30年度に実施した取り組み	2名の就学困難者に奨学援助を行った。	④今後の改善計画	周知・啓発に努める。